

伊豆大島

○火山活動度レベル（平成 17 年 9 月）

1（静穏な火山活動）

○概況（平成 17 年 9 月）

長期的な山体の膨張傾向は継続していますが、地震活動には特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しました。

○地震及び微動の発生状況

期間を通じて地震活動は落ち着いた状態が続きました（表 1、図 1、2）。
火山性微動は観測されませんでした。

伊豆大島(A点) 表 1 伊豆大島 日別地震回数

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
	0	1	0	4	0	0	0	0	0	4	9	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
	2	0	0	1	0	1	3	1	0	0	8	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
	0	1	0	0	7	0	0	0	0	3	11	28

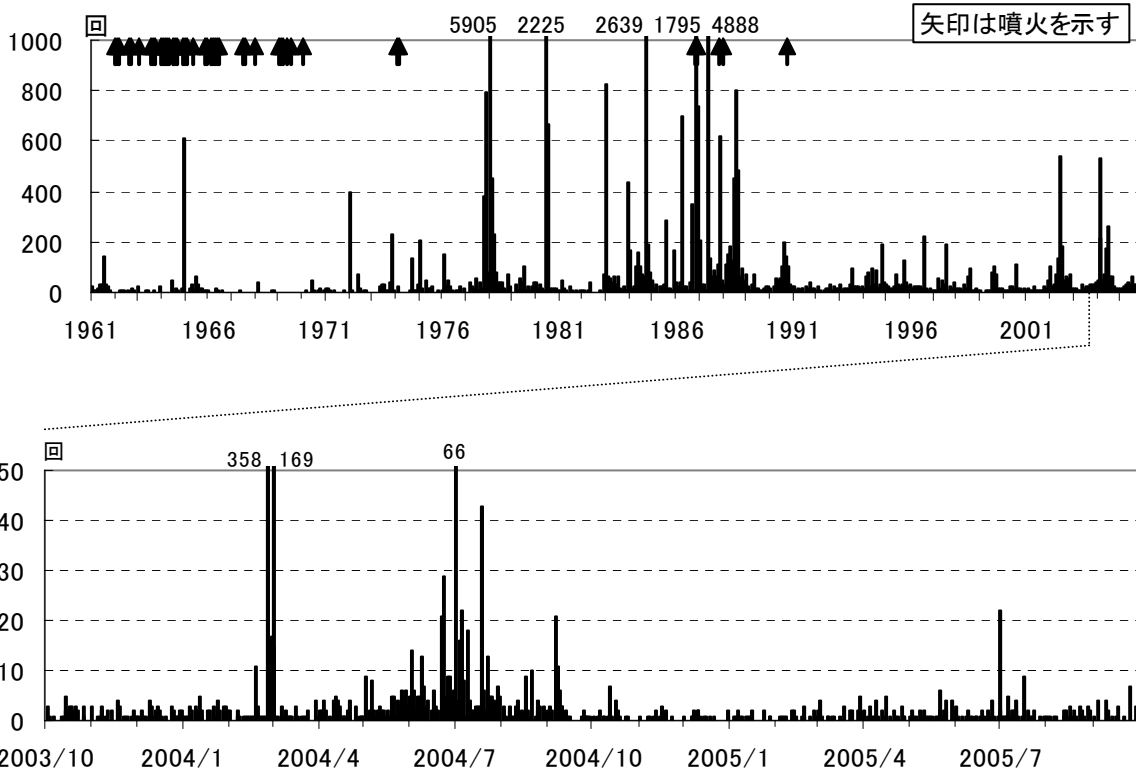


図 1 伊豆大島 地震回数

上：月別地震回数（1961 年 1 月～2005 年 9 月）

下：最近 2 年間の日別地震回数

*この資料を作成するにあたり気象庁のデータのほか、東京大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも使用しています。

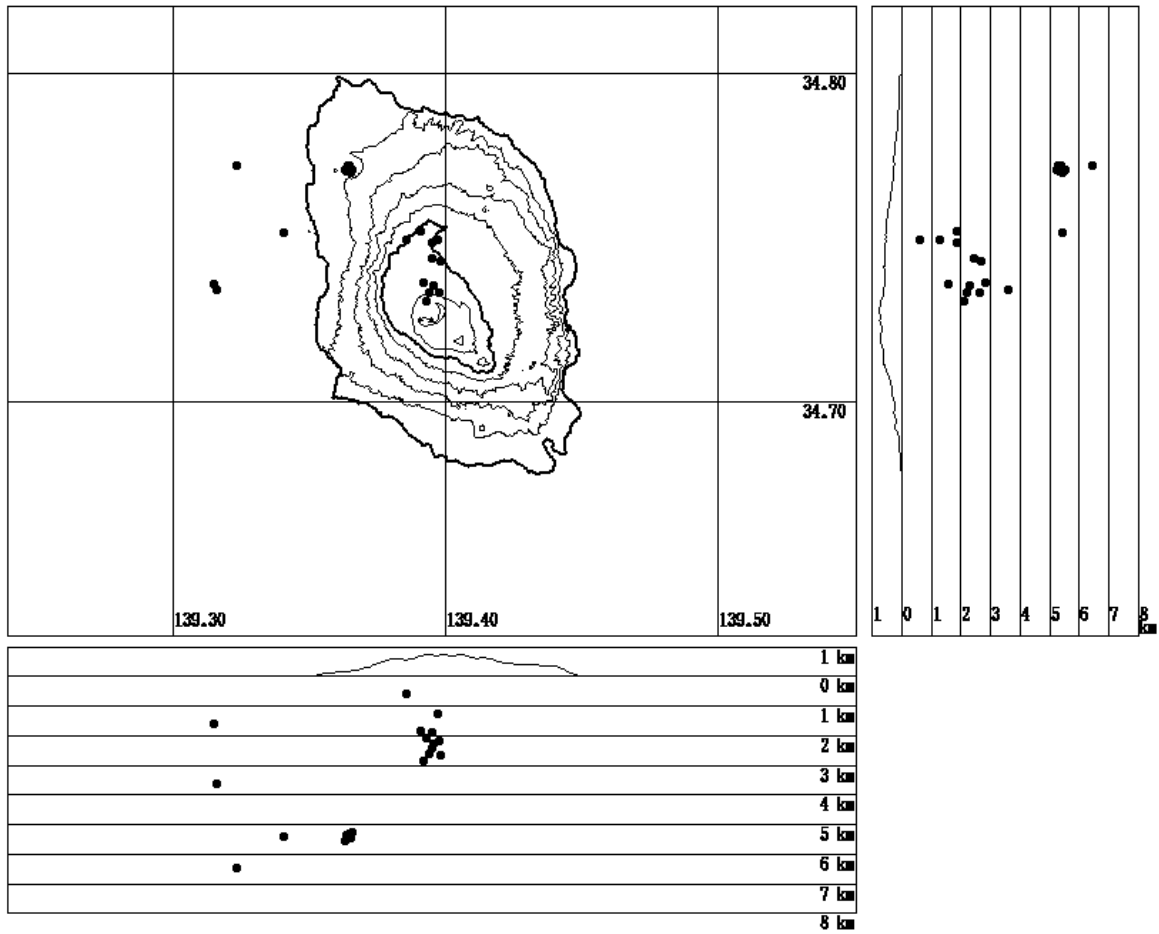


図2 伊豆大島 2005年9月の地震活動

左上：震央分布 下：東西断面 右上：南北断面

* 震源計算に使用した速度構造モデルは、島の北西部及び海域の地震については成層構造、その他の地震については半無限構造 ($V_p=3.1\text{km/s}$)。

(気象庁と東京大学地震研究所、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを使用)

○噴煙の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙は観測されませんでした。

○地殻変動の状況

GPS 観測及び光波距離計の観測では、山頂を挟む方向の 2 つの基線長において、年周変動以外に若干の伸びの傾向を示しています（図 3 ①、②）。南北方向の基線長では、長期的な伸びの傾向は 2000 年以降停滞しています（図 3 ③、図 4）。

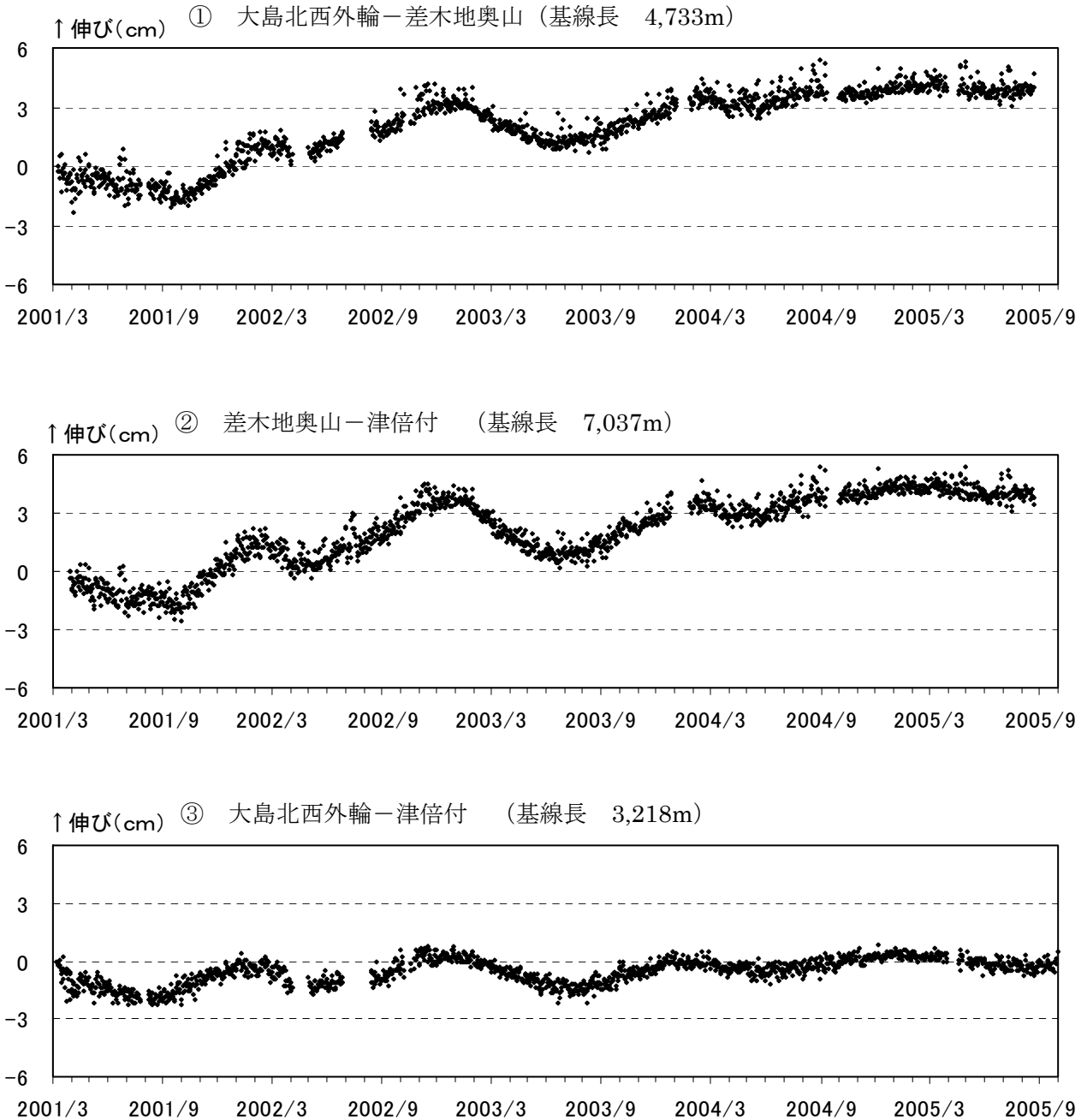


図 3 伊豆大島 GPS 観測結果（基線長変化）（2001 年 3 月 7 日～2005 年 9 月 30 日）

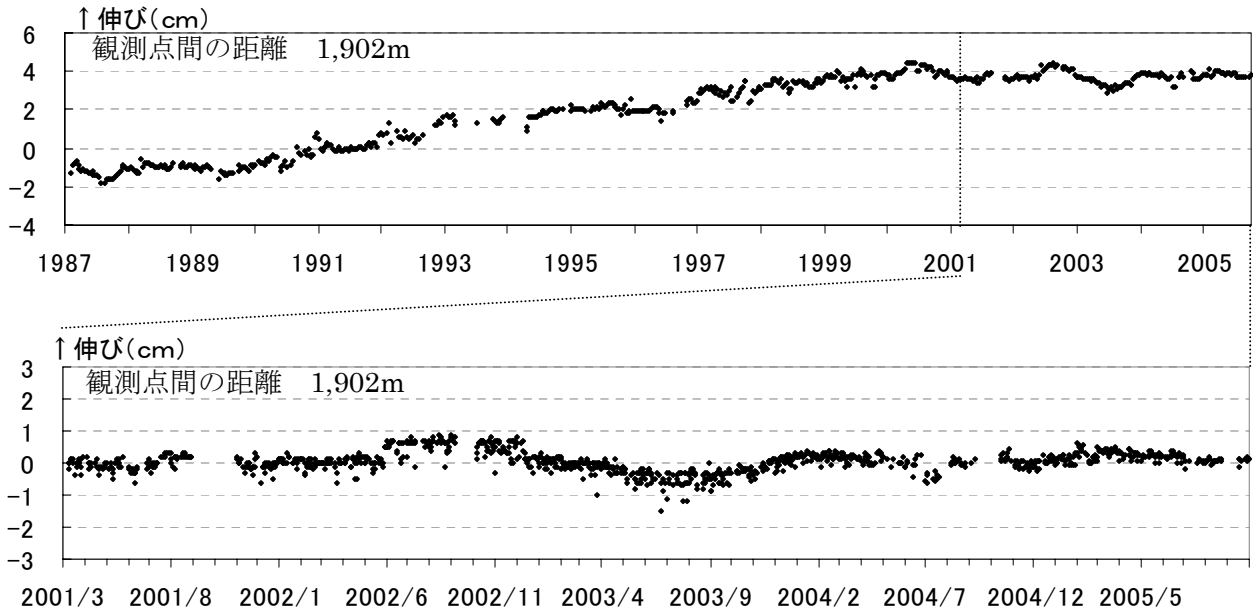


図4 伊豆大島 光波距離計（津倍付～神達）斜距離変化
上：旬平均値（1987年1月～2005年9月）
下：日平均値（2001年3月1日～2005年9月30日）

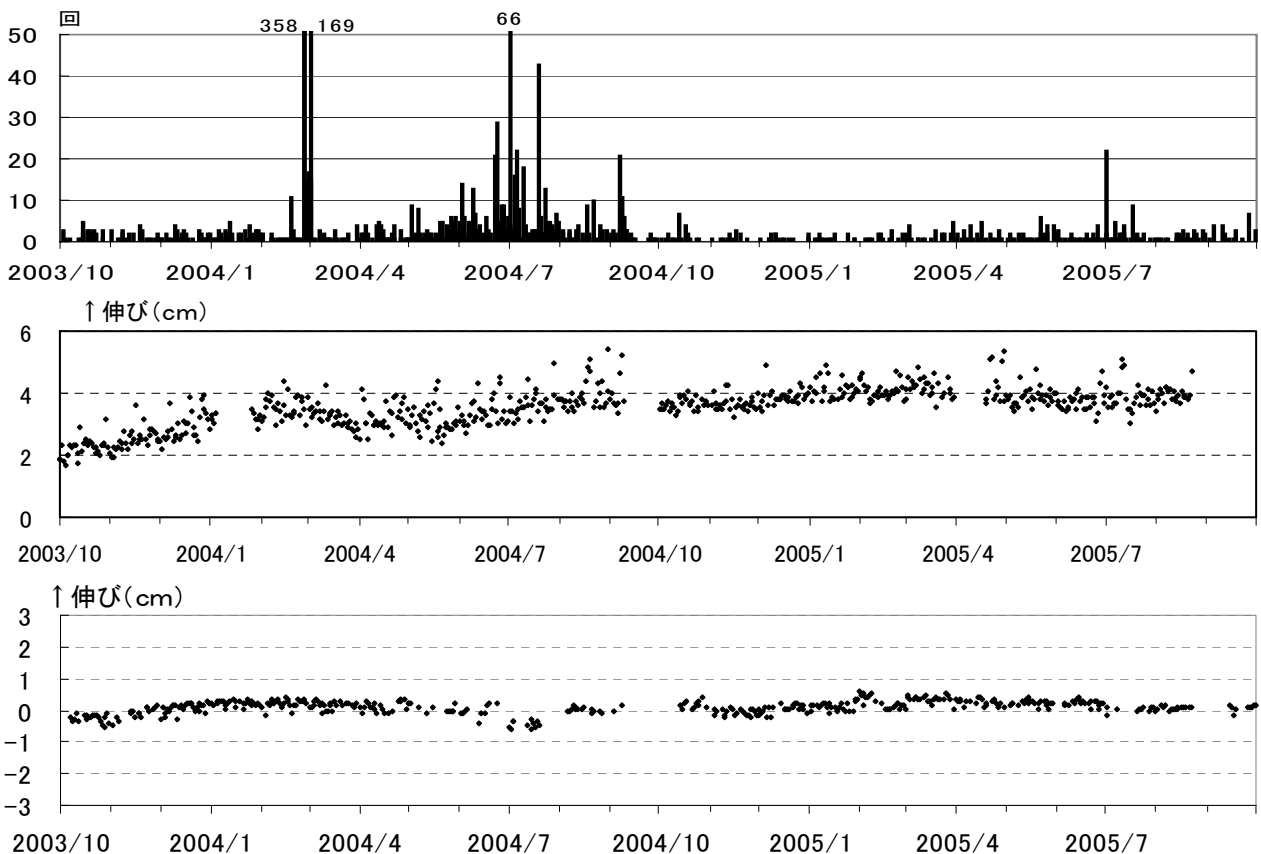


図5 伊豆大島 最近2年間（2003年10月～2005年9月）の活動
上：地震回数
中：①大島北西外輪～差木地奥山 GPS 観測
下：光波距離計（津倍付～神達）観測

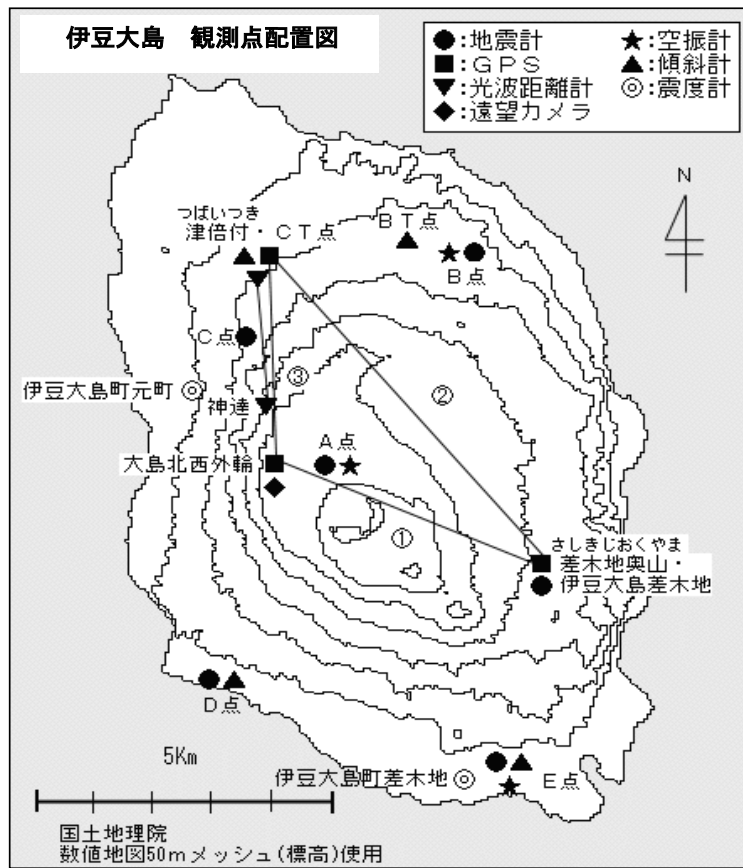


図 6 伊豆大島 気象庁の観測点配置